

令和5年11月22日
(2023年)

保護者のみなさまへ

吹田市立東佐井寺小学校
校長 池上 かずえ

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

全国値をやや上回る

●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

話すこと・聞くこと

- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」ことに、課題があります。

書くこと

- ・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことは、できています。

読むこと

- ・「目的を意識して、中心となる話や文を見つけて要約する」ことは、できています。
- ・「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」ことは、できています。
- ・「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける」ことに、やや課題があります。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・「漢字を文の中で正しく使う」ことに課題があります。
- ・「日常よく使われる敬語の理解」についてやや課題があります。

●国語科における成果と今後の改善点について

読むことでは、本校の研究テーマ「子どもの主体的な学びのある授業づくり」において、昨年度「物語文・説明文教材の学習」という点に焦点化したことで、登場人物の行動や気持ち、相互関係を叙述に基づいて読み取る力がさらに育ってきていることが伺えます。

書くことでは、字数制限や図表から読み取った内容を踏まえるなどの条件を踏まえた文章を書ける力がついてきています。昨年度からの日記や文章などのへの条件作文への取り組みの成果であると考えられます。

漢字については、昨年度に引き続き既習の漢字を文の中で使うことに課題が見られます。漢字を機械的に覚えるだけでなく、日常的に文章の中で使うよう意識して学習していけるよう取り組んでいきます。また、授業中等で敬語について取り上げる機会を増やすよう取り組んでいきます。

●算数《概要》

全国値をやや上回る

●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と計算

- ・「()を用いた式や、加法と情報の混合した式を場面と関連付けて読み取る」こと、「場面を解釈し、少数の加法や情報を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する」ことは、できています。
- ・「一の位が0の二つの二位数について、情報の計算をする」ことに課題が見られます。
- ・「「以上」の意味を理解し、必要な数を読み取る」ことにやや課題が見られます。

図形

- ・「正方形の意味や性質について理解している」ことにやや課題が見られます。
- ・「正三角形の意味や性質について理化している」ことに課題が見られます。
- ・「高さが等しい三角形について、底面と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を記述する」ことはできています。

変化と関係

- ・「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること」ことや「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる」ことはできています。
- ・「比例の関係を用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」ことにやや課題が見られます。

データと活用

- ・「複数の棒グラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する」ことはできています。
- ・「二次元の表から、条件に合う数を読み取る」ことはできています。
- ・「表から必要な数を読み取る」ことに課題が残ります。

●算数科における成果と今後の改善点について

「図形」の領域では、昨年度に引き続き三角形などの図形の性質や構成の知識を活用し説明する問題に関して、課題が見られました。知識の定着だけでなく、引き続き知識を活用し筋道を立てて説明したりする取り組みを目指した授業づくりに取り組んでまいります。

「変化と関係」の領域では、伴って変わる数量の関係に着目して問題を解決することができています。

「数と計算」の領域では、()を用いた式や日常生活の場面を解釈し加法や情報を用いて答えを求める力がついています。

少人数指導者を中心として、身近な場面から数量の変化に着目させたり、図や式などを用いて話し合ったりする活動、つぶやきを大切にされたノート指導の成果が伺えます。今後も、児童一人ひとりが主体的に、また、算数の良さに気づける機会を増やす取り組みを続けてまいります。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】

- ・「朝食を毎日食べていますか」という項目で「当てはまる」と答えた児童が、全国値を上回っています。
- ・「毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか」という項目で「当てはまる」と答えた児童は、全国地をやや下回っています。
- ・「毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか」という項目で「当てはまる」と答えた児童は、全国値を上回っています。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という項目で「当てはまる」と答えた児童が、全国値を大きく上回っています。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか」という項目で「当てはまる」と答えた児童が、全国値を大きく上回っています。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目で「当てはまる」と答えた児童が、全国値を上回っています。
- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という項目で「当てはまる」と答えた児童は、全国地を大きく上回っています。
- ・「学校の授業時間以外に、全く勉強をしない」と回答した児童は、全国値を上回っています。
- ・「読書は好きですか」という項目で「当てはまる」と答えた児童が全国値を上回っていますが、「当てはまらない」と答えた児童も全国値を上回っています。

【教科・学習について】

- ・「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の項目では、「当てはまる」と答えた児童が全国値を上回っています。また、「国語の授業の内容はよく分かりますか」「算数の授業の内容はよく分かりますか」の項目で「当てはまる」と答えた児童は、全国値を上回っています。
- ・「国語の授業は大切だと思いますか」「算数の授業は大切だと思いますか」という項目では「当てはまる」と答えた児童が、全国値を上回っています。一方、「授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という項目では、国語・算数ともにやや全国値を下回っています。国語・算数においては、さらに、普段の生活に活用し、将来に役立てる姿勢を伸ばしていきます。

3 今後の取り組み

教科に関する結果を踏まえ、本校は、児童にとって身近な問題解決の場面を通して、知識をさらに深めることができるような授業づくりを行い、各教科の持つ有用性を実感し、主体的に学習に取り組めるような授業をさらに進めてまいります。

また、自分の気づきや考えを書いたり話したりする機会を大切にし、発問や学習内容に対して自分ごととしての考えを持ち、相手に伝わるように自分の文章や発言を振り返ることができるような場面を積極的に作っていきます。

生活環境や学習習慣等の結果を踏まえ、児童の自己肯定感をさらに高める取り組みを進めていきます。また、一人一台端末等を活用した家庭学習の一助となるような取り組みや読書を好きになるような取り組みを進めます。

子どもたちの成長は、教科学習における知識の獲得だけではなく、学習に向かう意欲や姿勢、生活習慣・生活体験により興味・関心を広げていくことなども大切です。今回のアンケートから、ご家庭の皆様が、お子様の起床時間・就寝時間・食事等の生活リズムを整えていただいていることが伺えました。ありがとうございます。さらに、学校と家庭との連携で、学習環境をより良いものにしていきたいと思えます。

今後とも、児童の自立と幅広い学習の機会をつくるため、ご協力をお願いいたします。